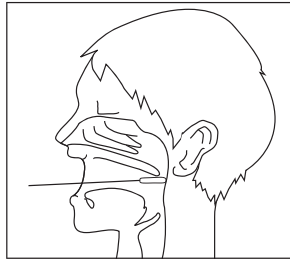


イムノエース[®] Strep A Neo 操作方法

株式会社 **タウンズ**
お問い合わせ先 ☎ 0120-048-489

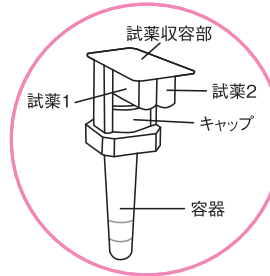
検体採取

咽頭ぬぐい液



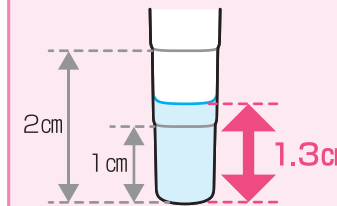
キット付属のスワブを口腔から咽頭にしっかり挿入し、咽頭後壁、口蓋扁桃の発赤部位を中心に数回こするようにして粘膜表皮を採取します。検体採取時は、綿球が咽頭以外の口腔内（舌、歯肉、ほほの内側、だ液など）に触れないように注意してください。

2液混合容器



POINT

試薬を流し落とす際の注意事項



2液混合容器の底面より1.3cm以上となるように試薬収容部から試薬を流し落としてください。

試料調製

容器を垂直に持ちます。

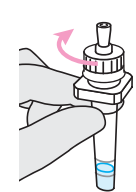
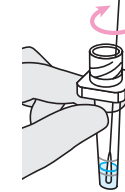
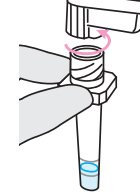
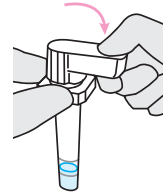
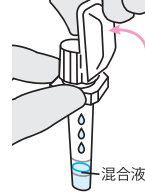
試薬収容部を垂直になるまで持ち上げ試薬を流し落とします。試薬が落ちていない場合は、容器を軽くたたき、試薬を流し落としてください。**POINT**

試薬が落ちたことを確認し試薬収容部を元に戻します。

キャップを外します。

検体採取後のスワブを抽出試薬に浸し、2回以上回転させ、1分間静置後、容器の外側からスワブの頭部をしっかりとつまみ、しごく様にスワブを引き抜き、試料とします。

調製した試料が入っている容器の上端に付属のノズルを被せてしっかりと開めます。



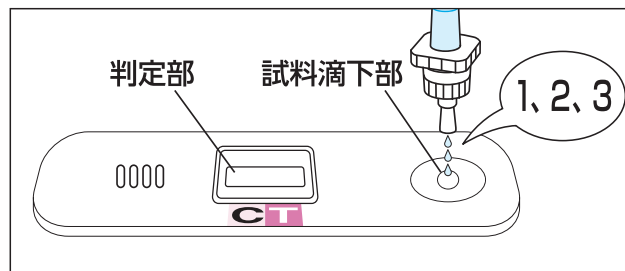
容器を垂直に保持する

容器を傾けて試薬収容部の試薬を流し落とすと、試薬が容器外にこぼれることがあります。

試薬収容部を元に戻す

試薬収容部を持ち上げたままキャップを外した場合、試薬が手袋等に付着することがあります。

試料滴下



調製した試料が入っている容器の中ほどをつまみ、テストプレートの試料滴下部に試料3滴(80 μ L~120 μ L)を滴下します。

⚠ 注意
テストプレートは開封後すぐに使用してください。

注意事項

- ① 試薬1と試薬2の混合液(抽出試薬)は保存できません。混合後は直ちに使用してください。
- ② 試料を滴下するとき、容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ③ テストラインは、ラインの濃淡にかかわらず、目視で確認できれば陽性です。
- ④ ラインは色分けにより区分されている各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ⑤ 抗原量が非常に多い場合には、判定部[T]に非常に濃いラインが認められ、判定部[C]にラインが認められないことがあります。このような場合は、新しい抽出試薬1本に対して試料を3滴滴下し、希釈調製したものを試料としてください。
- ⑥ 静置時間が十分でない場合、抗原の抽出が不十分となり、正しい結果が得られないことがあります。

判定

